

【介護医療院セミナー】

介護医療院の未来 ～どうする介護医療院、チャンスは今！～

2018年4月に介護医療院が創設され、1年が経過した本年3月末現在の開設数は全国で150施設（10,028床）にとどまっている状況です。

介護医療院への移行の利点として、病院内の病床から移行された介護医療院には、医師が常駐し、当直医による夜間診察も可能であるため、長期の入所や看取りにも安心した対応ができ、多機能な慢性期医療を提供できることなどが挙げられます。また、介護医療院は、在宅復帰の対象施設であることなど、様々な移行支援策が打ち出されています。

しかし、都道府県あるいは市区町村によって移行への対応がまちまちであるなど、移行したくともなかなか思い通りに進めることができないのも現状です。そして、移行定着支援加算（93単位/日）が1年間支給されるための申請の期限は本秋頃がギリギリのタイミングになるでしょう。さらに、地域医療構想による今後の病床数の削減なども視野にいれていかなければなりません。

日本慢性期医療協会では7月18日の記者会見において、介護医療院への転換に関する要望を打ち出し、喫緊の課題として取り組んでおります。移行への準備、そして開設後の具体的な運営など、介護医療院移行への不安な箇所も含め、本セミナーで考えてまいりたいと思います。皆様の奮ってのご参加をお待ちいたします。

開催概要

【日 時】 8月28日(水) 10:00～16:30

- | | | |
|-------------|------------------------|----------------------|
| 10:00～11:00 | 介護医療院の開設に向けて | 講師:厚生労働省老健局老人保健課 |
| 11:10～12:10 | 介護医療院の現状と課題 | 講師:鈴木龍太(日本介護医療院協会会長) |
| 12:10～13:00 | 昼食休憩 | |
| 13:00～14:00 | 介護医療院の理念と実践 | 講師:江澤和彦(日本医師会常任理事) |
| 14:10～15:00 | 介護医療院への移行に関する具体的手順と注意点 | 講師:村山正道(陵北病院事務長) |
| 15:10～16:30 | 慢性期医療における介護医療院の重要性と必要性 | 講師:武久洋三(日本慢性期医療協会会長) |

【会 場】 東京研修センター 〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
(地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前駅」2番出口から徒歩10分)

【定 員】 120名(先着順)

【参加費】 会員 10,000円、非会員 20,000円(昼食含む)

【申込締切】 2019年8月14日(水)

企画 日本介護医療院協会

主催 日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122 E-mail. info@jamcf.jp

ホームページ <http://jamcf.jp> ブログ <http://manseiki.net>

慢性期.コム <https://manseiki.com>